

第426回
労使協議会を
開催！

「生保産業の社会的使命達成」に 向けて労使の連携を強化！

9月30日に**2025年度1回目の労使協議会**を開催しました。

会の冒頭、生保協会・高田幸徳協会長と生保労連・堀義行委員長が挨拶
を交換したあと協議に入り、労連の取組みへの協会の理解を求めました。



▲協議の様子

議 題

- 1 総合生活改善闘争(2026春闘)
- 2 生保産業の
社会的使命達成に向けた取組み
- 3 営業職員制度関係
(1)2025年度の取組み方針
(2)営業職員の保障給
(3)営業職員の確定申告
- 4 社会環境の変化に対応した働き方
- 5 保険制度に関連する課題
(1)保険募集に関する
規制等の動向
(2)郵政民営化に関する動向
- 6 生命保険に関連する税制の充実

要 約

- 今年度は、確かな安心と信頼を広げ、一人ひとりの
よりよい未来に貢献していくために、「顧客本位の
業務運営を推進」「持続可能な社会とよりよい未来
への貢献」「生命保険業の健全な発展に資する情
報発信」の3点を軸に取り組んでいく。
- 生保労連とは、長い歴史の中でこの労使協議会での
意見交換を通じて、諸課題の解決をはかりながら、
今日の生命保険産業発展の礎を築いてきた。



◀高田協会長

これからも、労使の意見交換を通じ
た十分な協力体制の下、業界を巡る
諸課題の解決や営業職員の強みを
より発揮できる環境づくりに
取り組んでいきたい。

要 約

- 持続的な賃上げに取り組むことは、組合員の生活を守ると
ともに、生保産業の魅力度向上や人材確保にもつながると
確信している。今年度においても、早期の申し入れを検討
する等、春闘の議論をいち早くスタートさせることで、生保
産業の賃金改善の機運を一層高めていきたい。
- また、「社会的使命達成に向けた労使共同宣言」の主旨に
基づき「地域の安全を見守る運動」などの安心・安全な地
域社会づくりにも取り組んでいく。
- 1974年から426回の歴史を重ねてきた
労使協議会は、労使が共に課題解決に
取り組み、社会や組合員からの「共感」
と「信頼」を積み重ねていく極めて重
要な舞台と認識している。引き続き
労使一体となって取り組んでいき
たい。



堀委員長▶